

面接の基本ルール(所作・心構え編)

過去問等を確認の上、想定質問に対する回答を準備し、必ず練習の上、面接演習にお越してください。
また以下の内容を必ずご確認ください。

■入室方法

入室の際は、小学校により細かな指示がある場合とない場合があります。指示がある場合はその指示に従ってください。基本的には以下のような流れになります。

- ・父→子→母(両親の場合は父→母)の順に入室します。入室の際は「失礼いたします。」と言って入室します。子供は「こんにちは」(朝なら「おはようございます」)と元気に挨拶してください。もしノックをする場合は、3回軽くドアをノックしましょう。子供と手をつなぐことのないように、また、子供がキョロキョロしないように注意してください。
- ・全員入室したら、母親(両親面接の場合)が扉をしめ、扉前で父親主導で「よろしくお願いたします。」と挨拶し、全員でお辞儀をします。
- ・面接場に荷物を置く机がある場合、入室後速やかに荷物を置き座席の前に進みます。レインコートを持っている場合は、あらかじめ畳んでおきます。
- ・座席の前まで進み、父親が「〇〇(の両親)でございます。どうぞよろしくお願いたします。」と言い全員でお辞儀をします。
- ・面接官に「どうぞご着席ください。」と言われてから着席します。手荷物がある場合は椅子の横に置きます。

■退室方法

- ・「これで面接を終わります。」など、面接終了と言われたら、まずは着席したまま父親が「本日はどうもありがとうございました。どうぞよろしくお願いたします。」と声をかけ、全員で立ち上がります。そして全員で「ありがとうございました。」と挨拶してお辞儀をします。
- ・父→子→母(両親の場合は父→母)の順にドアまで歩き、ドアのところで父親が「どうもありがとうございました。失礼いたします。」と声をかけ、全員でお辞儀をします。
- ・父→子→母(両親の場合は父→母)の順に退室します。ドアを閉めるときは、背中の方で閉めるのではなく正面を向いて軽く会釈をして閉めます。ドアが閉まるまで面接官からは見えていますので、感想などということのないように注意してください。

■心構え

面接官は1日で多くの家庭の面接を行います。その中で「この家庭に来てほしい」と思ってもらえるよう家庭や子供のPRポイントをしっかり整理して臨みましょう。「聞かれたことに答える」という意識ではなく「家庭のプレゼンテーションの場」だと思ってください。

また、受ける学校は全て第一志望という気持ちで面接を受けましょう。受ける学校の教育方針や教育プログラム、行事の印象などは両親ともに理解した上で面接に臨みましょう。

子供が頑張ってきたことを後押しできるよう、周到に準備をしてください。

■答え方

本番の面接では、5~10分程度の面接がほとんどです。2問ほどしか質問されないこともあります。1問に対し、簡単に答えるのではなく、「この質問が最後かもしれない。」という気持ちで、出来る限りアピールポイントを盛り込んで答えましょう。結論を先に述べ、具体例やエピソードは後から話すようにすると、聞きやすくなります。

どのような質問も出来る限り、家庭の教育方針や子供の長所に関連付けて答えるようにしましょう。くれぐれも、質問ごとに「一問一答」で答えないう心掛け、プレゼンテーションであることを忘れないようにしてください。

■表情・視線

緊張して暗い表情になる方がほとんどです。第一印象はとても大事です。笑顔で明るい表情を心掛けてください。視線は必ず面接官のほうを見るようにし、複数面接官がいる場合は、質問していない面接官にも視線を配るようにしてください。答えていない方も、面接官を見ているようにしましょう。学校の先生にお会いできてうれしい、直接お話ができてうれしい、という気持ちでのぞみましょう。

面接の基本ルール(服装・身だしなみ編)

過去問等を確認の上、想定質問に対する回答を準備し、必ず練習の上、面接演習にお越しください。また以下の内容を必ずご確認ください。

■【面接】父親の服装例

- ・上品な濃紺のスーツ
ダブルのスーツやベストは適しません
- ・白いシンプルなワイシャツ
ボタンダウンは避けましょう
- ・無地のネクタイ
柄がある場合は小さく目立たないもの
色は地味な色で
- ・無地のビジネスソックス(黒 or 紺)
- ・清潔感のある髪型(黒髪)
長髪・茶髪は避けましょう
- ・マスク 不織布、白無地でサイズの合うもの
- ・アクセサリ類はNG
眼鏡をする場合はスタンダードなデザインのもの
派手な時計、派手なベルト、カフス、ポケットチーフは避けましょう
- ・スリッパ
黒・紺の無地(柄物は避けましょう)でつま先が隠れるものを用意しましょう
爪を清潔に保ち、髭を剃ってのぞみましょう



■【面接】母親の服装例

- ・上品な濃紺のスーツ
暑くても長袖
立っても座っても膝が隠れる上品な長さのもの
- ・清潔感のある髪型
お辞儀の際に髪が顔にかからないようにする
→長い方は迷ったら一つ結び
→短い方はピンやスプレーで留める
茶髪やボサボサはNG
メイクはナチュラルに
- ・ハンドバッグは自立型
派手なブランドものや金具が目立つものは適しません
- ・アクセサリやネイルはつけない
- ・スリッパ
黒・紺の無地(柄物は避けましょう)でつま先が隠れるものを用意しましょう
- ・マスク
不織布、白無地でサイズの合うもの



■【面接】女子の服装例 アンサンブル+ブラウス

・アンサンブル(ワンピース+ボレロ)

ワンピースも可

座っても膝が隠れる上品な長さのもの

刺繍や飾りは無し。ある場合は、目立たないもの

子供がつい触ってしまうような飾りは避けましょう

・半袖の白いブラウス

・きちんとした髪型

お辞儀の際に髪が顔にかからないようにする

→長い子は三つ編み、または高くない位置でひとつにまとめましょう

→短い子はスプレーで留めましょう

ピンは外れやすいため避けましょう(運動考査が同日にある場合)

ゴムは黒・茶・紺など。リボンはつけない

・靴下は白・三つ折り

ワンポイントやリボンのないもの。

替えのソックスを持参(雨等で汚れる場合があるため)

・マスク

不織布、白無地でサイズの合うもの

・くつ

(外履き)黒革(合皮)のものを準備しましょう。靴擦れしないよう、履きなれておきましょう

(内履き)汚れのないもの(記名は学校の指示に従いましょう)

・ポケット・爪 ハンカチ・ティッシュを忘れずに。つめを切り、清潔に保ちましょう



■【面接】男子の服装例 ポロシャツ+ベスト+半ズボン

・白い半袖シャツ(ポロシャツ)

・無地の紺ベスト

・紺 or グレーの半ズボン

・白い七分丈のソックス

ワンポイントのないもの

替えのソックスを持参(雨等で汚れる場合があるため)

・清潔感のある髪型

耳にかからないようにする

襟にかからない長さ

・マスク

不織布、白無地でサイズの合うもの

・くつ

(外履き)黒革(合皮)のものを準備しましょう。靴擦れしないよう、履きなれておきましょう

(内履き)汚れのないもの(記名は学校の指示に従いましょう)

・ポケット・爪

ハンカチ・ティッシュを忘れずに。つめを切り、清潔に保ちましょう

